

(様式第 8 号)

平成 2 6 年 7 月 1 7 日  
建設部港湾空港課長

## 設計図書等に対する質問書への回答について

一般競争入札に付した下記工事に係る質問について回答を閲覧します。

### 記

工 事 名：港湾荷役機械整備事業

秋田港外港 2 号岸壁(-13m)荷役機械製作設置工事

委 託 番 号：26-Z313-10

質問要旨及び回答：別紙による

-

工事名：秋田港外港2号岸壁(-13m)荷役機械製作設置工事

No.	特記仕様書の記載項目	特記仕様書の記載内容	質問要旨	回答
1	1. 総則 1-1 一般事項 1-1-1 適用	……。本機には20ft～40ftの伸縮スプレッドを装備し、定格30.5tまでのISOコンテナの連続荷役と重量35.6tまでのハッチカバーまたは非ISOコンテナの荷役ができるとともに、……。	「非ISOコンテナ」とは、サイズおよびコーナ金物はISOコンテナと同一であるが、重量のみがISOコンテナよりも大きいコンテナという理解でよろしいでしょうか。	貴解釈のとおりです。 非ISOコンテナの定格荷重は35.6tとします。
2	1. 総則 1-1 一般事項 1-1-8 言語、単位	本機にかかわるすべての図書、説明、打合せ、指導等において使用する言語は日本語とし、単位はSI単位とする。	一部の輸入製品の図面や説明書については、英文のものが含まれます。操作や日常の保守点検で支障がないように、必要な部分を和訳することに対応させて頂くことでよろしいでしょうか。	英文の図書には、必要な部分に和文を併記するものとします。また、承諾用図書に記載される英文、英単語には、原則として、すべて和文を併記するものとします。
3	1. 総則 1-1 一般事項 1-1-11 機器及び材料	4)クレーンに使用する部品は日本国内において容易に調達可能なものとする。	一部の輸入製品の場合は、国内製品と同等の調達能力である「国内に代理店がある」ことに対応させて頂くことでよろしいでしょうか。	承諾用要領書4.3表No.10「購入品メーカー及び下請業者リスト」に、代理店を含めて記載のうえ、提出してください。
4	1. 総則 1-2 工事範囲 1-2-1 工事範囲内	クレーン設置基数は1基とし、工事範囲はその設計、製作、据付、試運転、落成検査及び引き渡しまでを含む下記項目とする。	輸送及び据付時において、関連工事等の関係から、何か制約がありましたら教示願います。(工期内における輸送時期については、何も制約がないものと理解してもよろしいでしょうか。)	据え付け時においては、ターミナル供用中であるため荷役側との調整が必要になります。
5	1. 総則 1-3 試験検査及び施工の立会い 1-3-1 装置及び機材の試験検査 3.1表	運転室：放水テスト 待機室：放水テスト	運転室、待機室の放水テストの詳細な実施要領については、発注者様よりご指示頂けるとの理解でよろしいでしょうか。また、ご指定がない場合は、受注者にて試験要領を設定し実施するとの理解でよろしいでしょうか。	高所に設置されている運転室及び待機室に対して必要なテストを行うこと。詳細については契約後の協議によります。
6	1. 総則 1-3 試験検査及び施工の立会い 1-3-8 絶縁抵抗試験	2)地上変電所からクレーン本体の間の耐電圧試験を行う。	発注者様にて、事前にバース変電所からクレーン用給電ボックスまでのケーブル及び施設工事等に問題が無いことをご確認頂いた後、受注者にて耐圧試験を行うとの理解でよろしいでしょうか。	貴解釈のとおりです。
7	2. 設計条件 2-1 岸壁条件 2-1-1 設置場所条件	16)気象条件 積雪：55cm/日	具体的な荷重の指示がありませんので、以下の条件を考慮することで対応させて頂くことでよろしいでしょうか。 1)積雪荷重は東北地方建設局発行の「設計施工マニュアル(橋梁編)」に定められた雪荷重100kg/m <sup>2</sup> に従い計算致します。 2)JIS B 8821に従う荷重組み合わせで確認致します。 3)作業時については、雪かきをした後にクレーンを動作させるものと致します。また、クレーン安全規則の範囲内での使用を想定します。  なお、発注者様にて具体的な荷重条件がございましたら、教示願います。	気象条件に応じて適切な荷重条件を設定してください。 設定した荷重条件については、承諾用計算書4.2表No.1「クレーン重量、風荷重、重心、安定度」に記載し、提出してください。
8	2. 設計条件 2-4 強度計算基準 2-4-3 鋼構造物の疲労強度	……。負荷条件は総負荷回数を200万回(サイクル)とし、負荷分布はおおむね下記によるものとする。	鋼構造物の疲労強度計算は、荷重を受ける回数を200万回として計算を行うとの理解でよろしいでしょうか。	貴解釈のとおりです。
9	3. 鋼構造部 3-2 鋼構造部 3-2-1 構造一般	15)……。なお、斜材やバックステー等についてはパイプの採用も可能とする。	上部フレームについても、ボックス形と同等の機能を有する場合、パイプを採用してもよろしいでしょうか。	契約後、協議に応じます。
10	3. 鋼構造部 3-3 運転室 3-3-1 構造一般	7)……。外板材は板厚2.3mm以上の耐候性鋼板を用いて塗装仕上げする。……	同等の機能を有する場合、重防食塗装を施した鋼板を採用してもよろしいでしょうか。	特記仕様書に示すとおりとしてください。
11	3. 鋼構造部 3-3 運転室 3-3-5 装備	1)-(20) その他運転に必要なもの 1式	クレーン運転操作に必要な操作スイッチ類との理解でよろしいでしょうか。	基本的には、「クレーン運転操作に必要な操作スイッチ類等」と考えているが、詳細については契約後の協議になります。
12	3. 鋼構造部 3-4 機械室 3-4-1 構造一般	6)……。なお屋根外板材は3.2mm以上、壁材は2.3mm以上の耐候性鋼板とする。	同等の機能を有する場合、重防食塗装を施した鋼板を採用してもよろしいでしょうか。	特記仕様書に示すとおりとしてください。
13	3. 鋼構造部 3-4 機械室 3-4-1 構造一般	13)機械室床面にトトリからの脱出口を設ける。	トトリ横行範囲の全ての箇所でごダ上に退避可能であれば、機械室床の脱出口は不要との理解でよろしいでしょうか。	貴解釈のとおりです。

工事名：秋田港外港2号岸壁（-13m）荷役機械製作設置工事

No.	特記仕様書の記載項目	特記仕様書の記載内容	質問要旨	回答
14	3. 鋼構造部 3-4 機械室 3-4-1 構造一般	18)電気室の外気と接する壁等は難燃性断熱材で周囲を覆い、…	電気室は独立して機械室内に設置されます為、電気室壁は外気と接することはありません。太陽熱の影響を受けない為、電気室壁には難燃性断熱材は不要との理解でよろしいでしょうか。	貴解釈のとおりです。
15	3. 鋼構造部 3-4 機械室 3-4-1 構造一般	21)電気室内の制御盤操作位置から機械室内の主要装置を見渡すことのできる位置の壁にガラス窓を設ける。	電気室入口付近にモニタリング設備とその机を装備し、入口扉に窓を設けて、その窓から機械室内の主要装置が確認出来るようにすることで対応してもよろしいでしょうか。	質問要旨に記載する対応方法でよいものとします。 ただし、承諾用図面4.1表No.5「機械室内及び電気室内配置計画図」に電気室入口扉の位置、及び同扉の窓の位置と大きさを示してください。
16	3. 鋼構造部 3-4 機械室 3-4-2 機械室内クレーン	8)機械室内クレーンは中央部で荷重を吊り、撓み計測ができる構造とする。撓み計測を行うために床面に開孔口を設ける。	「撓み計測用ウェイトを搬入出来るように床面に開孔口を設け、機械室内で撓み計測ができること」で対応してもよろしいでしょうか。	契約後、協議に応じます。
17	3. 鋼構造部 3-5 待機室 3-5-1 待機室	2)・・・、外板材は板厚2.3mm以上の耐候性鋼板を用いて塗装仕上げする。・・・。	同等の機能を有する場合、重防食塗装を施した鋼板を採用してもよろしいでしょうか。	特記仕様書に示すとおりとしてください。
18	4. 機械設備 4-1 設備一般 4-1-1 機械設備一般	3)各機器は機能を明示した銘板を取付ける。	減速機、電動機、ブレーキ、油圧ユニットについて仕様銘板を機器に取付けるとの理解でよろしいでしょうか。	契約後、協議に応じます。
19	4. 機械設備 4-2 共通機械部品 4-2-9 ローラ	3)反転して使用可能なように取付を考慮する。	対称とならない部分(非対称のローラが機能上効率的である部分)については、適用しないことでよろしいでしょうか。	契約後、協議に応じます。
20	4. 機械設備 4-5 起伏装置 4-5-1 構造一般	8)ブームにブームフックがかかっている時、またはブームが水平位置にある時は起伏ワイヤロープに張力が掛からない構造とする。 9)台風対策として、ブーム起立時、ブームにフックがかかっている時はブームがガタつかないように固定できるものとし、この操作は、運転室からでも行えるものとする。	ブーム起立時、通常は起伏ロープに張力は掛からないようにしますが、台風対策時は起伏ロープに若干張力をかけてブームをバツファに押し付けます。これによって、ブームのガタつきを防ぎ、かつ起伏ロープの暴れも防ぐことができます。 台風時にはロープ張力をかけるこの台風対策を採用してもよろしいでしょうか。	契約後、協議に応じます。 なお、台風時、ブーム固定のために必要な操作は、運転室からでも行えるものとします。
21	5. 電気設備 5-3 制御システム 5-3-1 全体システム構成	6)・・・また、必要に応じて押釦スイッチ等による機側運転も可能とする。	地上レベルに設ける走行寸動用押釦スイッチとの理解でよろしいでしょうか。	貴解釈のとおりです。